


【件名】	妙正寺川整備工事(その202-4)	【事務所名】	第三建設事務所	
【工事場所】	東京都中野区若宮二丁目地内から同区白鷺一丁目地内	【受注者名】	大豊建設株式会社 東京土木支店	
【工期】	令和4年2月7日から令和5年3月27日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 樋口 祐也	

【工事概要】

本工事は、妙正寺川の丸山橋新設と上下流区間の護岸工事及び河川管理用通路の整備を行うものである。

工事延長 L=77.1m

擁壁護岸工延長 左岸L=34.4m、右岸L=54.5m

丸山橋架替工 L=11.0m

街築工・舗装工・植栽工・付属施設工 一式

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は、橋梁に関する複数企業者間との調整や将来管理者や補償代行工事の相手方との調整など、多方面にわたり細かな調整が必要な工事であった。施行者は綿密な工程管理を行いながら、当初予定通りに橋梁部の交通開放を行った。また狭隘なヤードの中で第三者の通行を確保する必要があったが、第三者の安全確保を十分に配慮して工事を行った。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

現場周辺は西武新宿線鷺ノ宮駅や小中学校が近接しており、通勤通学者が多い中での通行止め規制の工事でした。通行止早期解放の地元要望に応えるため、限られた施工ヤードでの関連工事との調整や工事順序の工程管理、第三者の安全確保に苦労しました。

◇ 特に工夫した点

工期内竣工するには関連工事との工程調整が課題でした。関連工事との調整を行う中で、丸山橋添架管を施工する際、添架部の護岸を先に施工してほしいなどの要望があり、急遽護岸を一部先行して構築するなど柔軟な対応を行いました。そのほかにも密に工程調整を図り、工事をスムーズに進行することができました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

丸山橋開通時に近隣住民の方々から感謝や労いのお言葉をいただき、地域貢献に携われたという思いから、やりがいや達成感を得られました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業は社会インフラを担う大事な業界です。現場ではいろんな苦労がありますが、その分やりがいがある業界だと思います。色々な工事を経験し、社会貢献につなげていただきたいと思います。



左岸護岸先行構築